

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 20 日現在

機関番号：10105

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20401044

研究課題名 (和文) アジア大陸における乳文化圏の解明とアーカイブ構築

研究課題名 (英文) Clarification of milk cultural sphere in the Asian continent and establishment of those data as digital archive

研究代表者

平田 昌弘 (HIRATA MASAHIRO)

国立大学法人帯広畜産大学・畜産学部・准教授

研究者番号：30396337

研究分野：乳文化論、牧畜研究、地域研究

科研費の分科・細目：文化人類学・民族学

キーワード：乳加工体系、乳文化圏、文化伝播・変遷フィルター、アーカイブ、牧畜民

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、

- (1) アジア大陸における乳文化圏を人文地理学的に明らかにし、その全体像の類型分類を完成させる
- (2) 乳文化圏ごとに地域研究を行い、地域の個性を説明するような概念を抽出する
- (3) 得られた乳文化に関する情報をデジタルアーカイブとして構築し、広く社会にその成果を発信することにある。

研究期間を通じて、アジア大陸各地においてフィールドワークを実施し、乳文化について調査すると共に、文化伝播・変遷フィルターを乳文化という事例を通じて検討することにより、地域の個性を説明できるような概念を抽出していく。更に、乳文化の稀少情報についてのデジタルアーカイブは、初年度に立ち上げ、乳文化についてのデータを随時登録していく。

2. 研究の進捗状況

現地調査は、これまでにインド北部、モンゴル中央部、バルカン半島、東南アジア南部、トルコ南東部でおこなってきた。いずれの地域でも一貫して乳文化調査、および、文化伝播・変遷フィルターの抽出を行ってきた。その成果は、「5. 代表的な研究成果」を参照のこと。これまでの調査研究で、ユーラシア大陸の各地域、つまり、西アジア、南アジア、中央アジア、北アジア、チベット地域のそれぞれについて乳加工体系についての個別事例を把握した。これらの個別事例から、現在ではユーラシア大陸におけ

る乳文化の一元二極化論について論考している。この乳文化の一元二極化論の仮説を検証するべく、バルカン半島での現地調査、古代東アジアと古代南アジアにおける乳製品の再現実験を進めている。また、それぞれの地域における文化伝播・変遷フィルターとして、西アジアや南アジアでは「暑熱性」、北アジア・中央アジアでは「冷涼性」などの要因を抽出してきた。これらの成果から、ほぼ計画通りに調査研究が進行しているものと考えられる。

稀少情報デジタルアーカイブは、初年度に、検討に検討を重ね、Web サイトに登録し、公開を始めた。合わせて、これまで研究期間を通じて乳文化データを登録してきた。登録・公開しているデータは、インド、モンゴル、シリア、ブルガリア、フランス、ペルーに及んでいる。登録しているデータは静止画像だけでなく、動画も公開している。データを登録する過程で発見されるシステムエラーやユーザーにとって使い易い乳文化アーカイブへと随時改良している。

3. 現在までの達成度

フィールド調査、稀少情報デジタルアーカイブの構築と、ほぼ計画通りに進展している。

4. 今後の研究の推進方策

フィールド調査は、新疆ウイグル自治区中央部のタクラマカン沙漠地帯、モンゴル西部のハンガイ・アルタイ地方の調査を進める予定にある。

稀少情報デジタルアーカイブについては、トルコ、カザフスタン、イラン、中国についてデータ登録を実施する計画である。

また最終年度であるため、研究成果を総括するため、乳文化に関する書籍を執筆・出版することを旨とする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 21 件)

- ① 平田昌弘、2010。「北アジアにおける乳加工体系の地域多様性分析と発達史論」『文化人類学』75(3): 395-416. (査読有)
- ② 平田昌弘、ヨトヴァ マリア、内田健治、元島英雅、2010。「ブルガリア南西部の乳加工体系」『Milk Science』59(3): 237-253. (査読有)
- ③ 平田昌弘、清田麻衣、2010。「フランス国中南部丘陵地帯の乳加工体系-オーヴェルニュ地域圏の酪農家の事例から-」『Milk Science』59(2): 103-114. (査読有)
- ④ 平田昌弘、2010。「インド北部ラダック高地山岳地帯の移牧民の生業構造-ドムカル村における食料摂取の視座から-」『ヒマラヤ学誌』11: 61-77. (査読有)
- ⑤ 平田昌弘、米田佑子、有賀秀子、花田正明、河合正人、内田健治、元島英雅、2010。「『斉民要術』に基づいた東アジアの古代乳製品の再現と同定」『Milk Science』59(1): 9-22. (査読有)
- ⑥ 平田昌弘、岸川沙織、近藤昭彦、山中勤、開発一郎、ダムディン バトムフ、本江昭夫、2009。「モンゴル高原中央部における植物の生育に影響を及ぼす自然環境の諸要因の分析」『沙漠研究』19(2): 403-411. (査読有)
- ⑦ 平田昌弘、2009。「インド北部ラダック地区の乳加工体系」『ヒマラヤ学誌』10: 73-85. (査読有)
- ⑧ 平田昌弘、2009。「コーカサスにおける乳加工体系-グルジア・アルメニアの農牧民の事例を通して-」『Milk Science』58(1): 1-14. (査読有)
- ⑨ 平田昌弘、2009。「中国内モンゴル自治区通遼市における現在の乳加工体系-定住したモンゴル農牧民世帯と漢族世帯の事例を通して-」『食品工学』52(21): 38-46.
- ⑩ 平田昌弘、2009。「「ミルク」を食べる-アジア大陸の人びとと乳製品のかかわり」『季刊民族学』129: 59-76.
- ⑪ 三宅裕、2009。「古代メソポタミアにおけ

る乳利用と乳製品」『古代オリエント博物館紀要』28:39-51. (査読有)

- ⑫ 平田昌弘、2008。「発酵乳系列群からクリーム分離系列群へ発達史論-シリアの半農半牧民の事例から-」『沙漠研究』18(2): 57-65. (査読有)
- ⑬ 平田昌弘、Aibibula Yimamu、2008。「中国新疆ウイグル自治区南西部における乳加工体系」『北海道民族学』4: 31-43. (査読有)

[学会発表] (計 8 件)

- ① 平田昌弘、「ミルクの有る牧畜-アジア大陸乾燥地帯の事例から-」〈民族自然誌研究会第62回例会ミルクの有る牧畜 vs ミルクの無い牧畜〉. 京都大学地域研究統合情報センター、京都. 2011年1月22日
- ② 平田昌弘、「生業としての牧畜の本質-乳・乳利用-」〈第9回松柏庵研究会〉. 京都大学大学院地球環境学堂、京都. 2011年1月12日.
- ③ 平田昌弘、「生業としての牧畜の本質-乳利用-」〈広島大学総合科学部・大学院総合科学研究科第636回環境科学共同セミナー〉. 広島大学大学院総合科学研究科、広島. 2010年6月11日.

[図書] (計 7 件)

- ① 平田昌弘、2011。「栄養摂取からみた移牧民の高地適応戦略」奥宮清人編著『生老病死のエコロジー-チベット・ヒマラヤに生きる』昭和堂、146-151.
- ② 平田昌弘、2009。「乳利用と牧畜」日本沙漠学会編『沙漠の事典』丸善、77.
- ③ 平田昌弘、2009。「牧畜の起原」日本沙漠学会編『沙漠の事典』丸善、78.
- ④ 平田昌弘、2008。「アジア大陸における乳文化圏と発酵乳加工発達史」石毛直道編著『世界の発酵乳』はる書房社、174-197.

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]

乳文化に関わる稀少情報デジタルアーカイブ

<http://www.milkculture.com/index.php>